

## 令和元年度 第1回江南市特別職報酬等審議会に関する議事録

- 日 時 令和元年11月26日(火) 午前9時～10時40分
- 場 所 市役所 2階 第2会議室
- 出席者 出席委員10名
  - 佐々木 直 (修文大学 名誉教授) ※会長
  - 高橋 政稔 (名城大学 名誉教授)
  - 伊藤 由香 (愛知江南短期大学 学長)
  - 奥村 真也 (奥村真也税理士事務所 税理士)
  - 大前 温子 (大前温子行政書士事務所 行政書士)
  - 松永 金次郎 (江南商工会議所 会頭) ※会長代理
  - 岩田 恒治 (連合愛知尾張西地域協議会 事務局長)
  - 横山 史明 (江南青年会議所 理事長)
  - 小林 弘子 (江南市国際交流協会 運営委員)
  - 宮道 末利子 (公募委員)
- 欠席委員なし

### ■市長あいさつ

特別職の報酬等について、現在、条例で定めている金額が妥当であるかどうか、財政状況や愛知県下の状況なども踏まえて審議をお願いします。

### ■会長選出

委員の互選により、会長に佐々木直氏を選出

### ■会長あいさつ

### ■会長代理の選出

会長の指名により、会長代理に松永金次郎氏を選出

### ■市長から会長へ諮問

### ■議事

#### 1. 会議の公開について

審議の内容は、市民の関心も高く、非開示にする理由もないが、会議において忌憚のない自由な意見交換を行うことを目的として、従来、委員の総意により会議そのものは非公開とし、議事録については、発言者の名前を伏して公開としてきた。

しかし、会議の公開について、近年の市民参加の流れを受け、また、県下各市の公開・非公開の状況が半々であることを踏まえ、今年度は従来どおりとするが、次年度以降の方針については、検討を行った結果、公開の方向で、各委員からの意見を整理した案を次回の審議会において検討し、決定することとした。

## 2. 議題について

- (会 長) 「議題（1）江南市特別職報酬等の額について」ですが、まず、事務局から本審議会の進行予定と資料の説明をお願いします。
- (事務局) < 説明 >
- (会 長) ただ今、事務局から説明がありましたが、質問や意見があれば承っていきたいと思います。
- (委 員) 市長の給料月額で、独自に減額を行っている団体がありますが、これは地域手当を含む額ですか。
- (事務局) 給料月額について減じた後の額であるため、ここに地域手当が加算されるものです。
- (委 員) 他団体のことなので難しいかもしれませんが、独自に減額している団体の理由は分かりますか。
- (委 員) 就任した市長の意志で、財政難だから身を削っていくということではないでしょうか。
- (委 員) 地域手当について、これはどういった性格のものですか。
- (事務局) 例えば三河地方では地域手当の率が高いところがありますが、地域の給料等に合わせて調整をする性質のものです。
- (会 長) 三河地方は景気の良いところが多く、そのようであろうと思います。
- (委 員) 教育長の給料に関しまして、教員を退職した後に就任されるということで、退職先で給料等を受けた後、それから市の方で給料を受けることになり、それであれば新規採用職員の給料を上げたほうが良いのではと考えます。民間企業では考えにくいことで、こうした状況は改善できないかお聞きしたいです。他団体のこともあり難しいのでしょうか。
- (委 員) 他団体とのバランスでということでは納得はしにくいですが、施設を廃止せねばならない程の財政難であれば、行政側が身を削り市民に示していく「見える化」が必要ではないでしょうか。
- (事務局) 教育長に関して申し上げますと、多くの団体において教員経験者が就任しておりますが、必ずということではなく、一般の方が議会の議決を経て任命されることもあります。

- (委員) 民間の再雇用では、給料の少なくとも3割カットということが常識であると思います。現職を辞して教育長に就任しようという場合であれば給料が高くても良いと感じる一方、校長を退任後に教育長に就任する場合は再雇用ということで給料を下げるという考えもありますが、それはそれで難しいとも思います。
- (委員) 途中で退職して教育長に就任するということであれば上乘せという考えもありますが、定年退職後の就任という場合は少し考える必要があると思います。
- (委員) 一般企業の再雇用では短時間勤務とした上で給料を考えることになります。教育長の場合仕事の密度はどのようですか。
- (事務局) 教育長の勤務体制は常勤となっています。一般職員の再任用について申し上げますと、4分の3等の勤務時間があり、それに見合う給料としております。
- (委員) 議員報酬について、県下各市で18位であり、職員は27位ということで、職員の給料がもう少し上がるような改正をしてはどうかと思います。
- (委員) 今回、財政力指数が33位ということで、新規事業、廃止に向かう事業があり、職員は一生懸命取り組まなければならない中、議員、特別職の皆さんには先頭に立ち、身を挺してやろうという気迫が必要だと思います。
- (委員) 毎日登庁する三役について、給料は安くはないですが、特別に高いという感覚もありません。一方で議員は他に仕事を持っている方もあり、三役と比較すると、仕事のボリュームの観点から個人的には妥当でないのではという感覚があります。
- (委員) 商売が儲からなくても、議員であれば3.35月分の賞与が支給されますが、企業は利益が出なければ賞与もなく、そういった事情も分かっていたいただきたいと思います。
- (委員) 議員を志す優秀な人材が、報酬の条件で諦めてしまうことがあります。次世代のためにと現職を辞して、立候補を考えていても報酬の面だけで断念する状況は残念に思います。  
また、議題には出てきませんが、研修等の費用として議員報酬とは別に支給される政務活動費がありますが、江南市は他団体と比べてその額が少なく、歳費全体で考える必要があると感じます。

- (委員) 先の委員の発言に関連して、私は議員報酬はむしろ少ないと考えます。現在の報酬で議員専業では子育てができる額でなく、志のある若い世代は立候補しないと考えます。例えば、報酬の総額を変えずに、定数を減らして報酬を増やすという考え方もあると思います。
- (委員) 今年度、議員の改選がありましたが、専業・兼業の状況はどのようなのですか。
- (事務局) 資料がないため不明ですが、議員の専業・兼業について、審議の中で重要な話題になっておりますので、資料を収集し、次回の審議会でお示ししたいと思います。
- (会長) ここで、現在諮問を受けております特別職等の報酬について、引き上げ、引き下げ又は据え置きについて、どのようにすべきか委員の皆さんの意見をお聞きしたいと思います。
- (委員) 2年前、議員報酬の引き下げを行っており、教育長の給料に関する話題はありましたが、全体として今回は据え置きで良いと思います。
- (委員) 2年前の審議会で、過去から持ち越しとなっていた議員報酬の減額をすべきと意見を述べました。今回は様子見で良いと思いますが、議員の取り組みを発信するなど目に見える形で出していただけだと思います。  
教育長の給料は、もともとの教員の給料が高い印象もあり、現状の額になってしまうのではと感じます。民間の方が教育長に就任し得るため、優秀な人材を求めるという観点もあります。今後の課題として教育長の報酬について考える必要性を感じますが、今年度は据え置きの方で進めていただければと思います。
- (委員) 三役については妥当な数字だと思います。議員については常に出勤しているという印象がなく、主観ですが現状は少し下げたほうが良いのではないかと思います。ただし、他の委員の意見にありましたが、人材確保の観点から、報酬を上げて定数を減らすことは理解できます。
- (委員) 財政力指数が33位という点が気になっています。議員も三役も金額面ではなく、「この市のために」という気持ちのある方に務めて欲しいと思います。江南市でも自ら削減を行ったと聞いたことがありますでしょうか。
- (委員) 給料月額ではございませんが、市長におきましては、今年度、任期満了に伴う退職金につきまして、自らの判断において500万円を減額する条例を提案いたしました。

- (委 員) 厳しい面もあると思いますが、そうした気持ちで臨んで欲しいと思います。
- (委 員) 市長、副市長は現状維持で良いと思います。教育長に関しては、例えば現職の方を任命するなど、任命の方法で考えることもできると思いますので、今後検討いただきたいと思います。金額は据え置きで良いと考えます。議員については2年前に減額としており、今回はそのままが良いと思います。働きについて色々ありましたが、選挙で結果は出ますので、人材確保の観点からも現状維持と考えます。
- (委 員) 三役については特にありません。議員は2年前に減額となりましたが、これ以上下がらないようにして欲しいと思います。志という面がある一方、背に腹は代えられないということもあります。人材確保の面からも、議論が定数の方を向いて、報酬は下げないでいただければと思います。
- (委 員) 議員報酬の引き下げは、市民に与えるインパクトが大きいですが、人を育てていく意味では現状の額が限度ではないかと思います。教育長に関しましては、市の代表としての役割をされることもあり現行の額になっているとも思いますが、そのままが良いと考えます。
- (委 員) 市長等は、土日の行事出席等で拝見することもあり、市長、副市長の給料についてはそのままが良いと思います。教育長、議員については、市民目線に立ち働く方であれば妥当であり、そうでなければ減額や定数の見直しが必要であると思います。無い袖は振れず、財政力を上げるまちづくりが必要で、報酬等の財源を自ら確保しているというように取り組んでいただきたいです。
- (委 員) ある調査によれば、江南市の人口は25年後に7万7千人になるとのことで、議員定数も先を見越して対応は必要であると感じます。また、国税局の発表では、全国の平均所得が約441万円、江南市は全国1，741市区町村中242位で、平均所得は約328万円で愛知県内では二十番目台でした。やはり地域の活性化により個人所得を上げることが必要で、そのためには公共施設も利用価値があります。身を削らなければ近隣から立ち遅れます。  
今回、報酬等は据え置きで良いと考えておりますが、先に述べたように身を切る姿勢を示していただきたいです。
- (会 長) これまでの答申は、近隣団体の状況や江南市の財政力を参考にしながら決めており、それ以外にも様々な御意見をいただいた中で、今回、積極的に上げる、下げるといったことはありませんでしたので、その点を踏まえ、次回の審議会で具体的な案を示し決めていきたいと思っています。

(会 長) 「議題(2) その他」についてですが、事務局から何かありましたらお願いします。

(事務局) 慎重なご審議ありがとうございました。  
次回の審議会までに委員の皆様のご意見を踏まえまして答申(案)を作成し、お諮りしたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。  
今後の日程ですが、第2回の審議会を12月25日(水)の午後1時30分から開催したいと思っておりますが、ご都合はよろしいでしょうか。

(会 長) 万障お繰り合わせのうえ、出席をお願いします。

(事務局) 次回は答申(案)をお示しさせていただき、ご了承をいただければ、市長へ答申していただきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

(会 長) それではこれで閉会とさせていただきます。

---

《第1回江南市特別職報酬等審議会終了》